

日本発ドイツ便り～最高の料金で最低のサービスを！

日本の郵便局が民営化されました。
それと、この題名がどう関係あるのでしょうか？

ドイツ人は、けっこう「自虐ネタ」が好きなような気がします。
「お国自慢」ならぬ、「お国自虐ネタ」や「地域ネタ」も結構多いです。

そのドイツ人たちが「最高の料金で、最低のサービスを！」とネタにするのが、ドイツの郵便局 Deutsche Post(ドイチェ・ポスト)です。郵便局つながりで、今回は、ドイツの郵便局を紹介します！

民営化されたのはかなり前で、ドイツ政府が、政府所有企業の経営見直しの一環として、1995年に、それまで政府の所有企業だった、「ドイツ連邦郵便」を ドイツテレコム ドイツ・ポストバンク ドイツポストという3つに分割して、株式会社として民営化したのがその始まり。Deutsch Postは、国際宅配便会社のDHLも100%子会社化して、いまやドイツにとどまらない、世界規模の優良企業です。



ドイツのポスト。集めにくるのは、1日一回夜のみ！（地域によっては違うかもしれません。）
ドイツ国内なら、次の日には、ちゃんと届きます。（これも地域差はあるかもしれません。）
配達方法ですが、フランクフルトでは、私の出勤時間 08:40 頃には、もう配達開始していました。



ちよっとうまく写真がなかったなので、上記の写真は、お隣オーストリアの郵便配達の人です。

(それにしても、なんでもかんでも写真を撮ってるもんだ、と我ながら感心。)

ドイツでもこんな感じの手押し車(?)風のものを使って、徒歩で配達して回ります。

特に都市部では、相当エリアを分割しているのではないのでしょうか?(もちろん地方とかは車とか使うと思います。)下の写真がドイツの郵便バッグのアップです。確か、同じ黄色のジャンパーか何か着ていたような記憶が…。もちろんネクタイなんかしめてませんよ。



で、本当にドイツ人が言うように「最高の料金で、最低のサービスなのか?」の検証ですが、料金は確かに高いし、窓口の対応も親切とはいえませんが、対応に関しては、別にドイツの中でずば抜けて悪い、というわけでもないの、ごく標準的だと思います。

多分、待ち時間が長いとか、そういう類の不満ではないかと思われま。何人もいるのに、窓口が1つしか開いてなくて、後ろでお茶を飲みながら、あーだこーだと議論していたり(ドイツ人

派議論しだすと止まらない人多数です。)、という風景はそう珍しいものではないですよ。(ちょっとドイツの「勤勉」のイメージとは違うかもしれませんが)

料金については、近隣のユーロ圏諸国との値段の比較をしてみると…。

日本に絵葉書一枚送るときの料金

- ・フランス 90 セント(約 147 円)
- ・バチカン 80 セント(約 131 円)
- ・イタリア 80 セント(約 131 円)
- ・**ドイツ 1 ユーロ(約 164 円)**
- ・スペイン 0.87 ユーロ(約 142 円)
- ・オランダ 0.89 ユーロ(約 146 円)
- ・フィンランド 65 セント(約 106 円)

*変更になっている可能性もあるので、実際に出すときは必ず確かめてくださいね。

と、確かに高いです。もちろん、ヨーロッパ以外の国への郵送料だけが高いわけではないので、他の郵便や小包なんかも同様に高いです。

ちなみに、日本からヨーロッパへのはがきの送料は 70 円、封書も 110 円。日本の郵便局は優秀ですね！

でも、うっかり、もっと高いところを見つけてしまいました…。

- ・ オーストリア 1.40 ユーロ(約 230 円)

一瞬目を疑って調べなおしてみましたが、本当にそうみたいですね。

今度、Deutsch Post のネタをいうドイツ人がいれば、「オーストリアはもっとひどい！」とって、喜ばせてあげようと思います。☺

ドイツの郵便局では、文房具なんか売られているところも多く、カードからカレンダー、手紙周りや梱包用の文房具はなんでも揃いますよ。ドイツに行かれた際には、黄色のホルンマークの Deutsche Post があれば、一度覗いてみてくださいね！

ドイツの郵便局でした！